

事業名	事業概要	計画					実績					事業効果	委員会意見		今後の方針
		総額	(単位：千円)		目標K P I	総額	(単位：千円)		実績K P I	達成状況	事業個別		総括		
			交付金	村負担			交付金	村負担							
九戸村総合戦略策定事業	地域の特性を踏まえ、良質な雇用の創出と人口還流の加速による地域の活性化という好循環を生み出す「九戸村総合戦略」を策定するために、必要な専門的な調査等を実施。	10,000	7,800	2,200	-	8,703	7,832	871	-	-	特になし			適宜、効果検証と進行管理の実施。	
空き家実態調査事業	地域における交流の拠点づくりやU I Jターナー者の居所確保のため村内の空き家の実態を調査し、空き家バンク登録数を増加させる等の空き家の有効利用の推進に努めた。	8,844	7,100	1,744	新規発見空き家：30軒 空き家バンク登録数：10件 空き家バンク相談件数：5件	7,844	7,095	749	新規空き家把握：37軒 空き家バンク登録数：0件 空き家バンク相談件数：1件	一部達成	新規空き家を把握でき効果があった。	特になし		事業成果を空き家バンクの充実と空き家の有効利用施策に活用する。	
住宅リフォーム事業	村内事業者を利用し居宅を建設等した住民に対し助成を行うことで、U I Jターンの推進と地域内における建設事業の促進による「しごとづくり」で地域経済の活性化を図った。建設・建替費が100万円以上の場合に10万円を限度に商品券を交付。	3,000	2,520	480	補助による建設等軒数：30軒 上記のうち U I Jターナー者：10軒 または U I Jターナー者による補助申請相談：10件	2,800	2,520	280	補助による建設等軒数：28軒 上記のうち U I Jターナー者：0軒 または U I Jターナー者による補助申請相談：0件	一部達成	U I Jターナーまでは効果が及ばなかったものの、需要がありしごとづくりに寄与できた。	特になし		制度に対する需要があり「しごとづくり」に有効であるため継続して実施。	
新卒者ふるさと雇用支援奨励事業	村民である新卒者を雇用した村内事業者に対し助成をおこない、若い世代のU I Jターンの促進と定住化を図り地域の活性化を進めると共に雇用の機会を拡大した。1人当月3万円。	2,880	980	1,900	採用新卒者：8人	1,080	972	108	採用新卒者：3人	一部達成	目標には及ばなかったが新卒者を採用する事業所があり若者の定住促進につながった。	特になし	今後も地域資源を有効活用し各事業を進め地域活性化に努めること	若者の定住促進のため継続して実施。	
医療費助成事業	少子化対策として子育て支援を図ると共にU I Jターンと移住の機会の拡大を促進するため実施し、高校生世代以下の子ども、ひとり親等の対象者に対する医療費自己負担部分の補てんした。	11,048	9,436	1,612	出生数：40名 (下限：20人)	11,045	9,416	1,629	出生数：39名	一部達成	ほぼ目標値を達成し少子化対策に寄与できた。	特になし		少子化対策と定住促進のため継続して実施。	
新規就農者支援事業	就農希望者の支援を通してU I Jターンと移住の機会の拡大を促進するため新規就農者に対する技術研修を実施し本地域の基幹産業である農業を支援した。	3,000	2,700	300	新規就農者数：2人	3,000	2,700	300	新規就農者数：1人	一部達成	新規就農者を確保できた。	特になし		就農希望者や新規就農者の技術研修のため継続して実施。	
非定住者調査事業	村の応援者（本村出身者などの非定住者）を募り地場産品の販路拡大と都市部との交流の促進を図った。	1,718	30	1,688	リスト化：30人 地場産品購入取引者：20人	33	29	4	リスト化：4人 地場産品購入取引者：0人	一部達成	年度における効果は小さかった。	特になし		単年度での成果は小さかったが、今後も継続して実施。	